

熊野古道中辺路の中心部「近露(ちかつゆ)」に 熊野古道歩きの「観光拠点」を開設します

平成22年春にオープン予定

南海電鉄(社長: 亘 信二)では、和歌山県田辺市にある熊野古道・中辺路(なかへち)の中心部・近露(ちかつゆ)に、マイカーや観光バスご利用のお客さまを対象に、お食事や地元の特産品販売に加え、熊野古道歩きを体験していただける新たな観光拠点「古道歩きの里ちかつゆ」を平成22年春にオープンします。

特にお車ご利用のお客さまの利便性を高めるため、駐車場の提供および古道歩き出発点までの送客サービス(熊野古道歩き体験ツアー)を行う新型の観光拠点であり、古道歩きの基地となることを目指します。

「熊野古道歩き」は平成16年の「紀伊山地の霊場と参詣道」の世界遺産登録を契機に、脚光を浴びています。また、和歌山県下の道路整備事業の進捗に伴って、大阪方面から南紀地区、特に本宮や新宮、勝浦方面への道路アクセスが向上しています。

このような状況を踏まえ、今後も熊野古道への観光客が見込めると判断し、当社では同拠点の開設を決定しました。

当社では現在推進している経営計画「堅進126計画」において、「沿線活性化の推進」を1つの柱に掲げています。南紀エリアにおいては「観光関連ビジネスの強化」を主要施策として打ち出しており、同拠点の開設は同施策を具体化したものです。

また南紀エリアは、貸切バス、定期観光バスや、瀬峡ウォータージェット船などを運営する「熊野交通(株)」(本社:新宮市)や、「一島一館」という貴重なロケーションを持つホテル中の島を運営する「(株)中の島」(本社:那智勝浦町)が営業するなど、重要な営業エリアです。

当社では同所が熊野古道の観光拠点となるとともに、当社グループの「南紀エリアの情報発信基地」となることを目指しています。

詳細は別紙のとおりです。

「古道歩きの里ちかつゆ」
(完成イメージ)



【別 紙】

1. 施設名：古道歩きの里ちかつゆ

2. 所在地：和歌山県田辺市中辺路町近露 1 7 7 2 番ほか

3. 延床面積：約 8 4 5 m² (約 2 5 5 坪)

4. 営業内容：

(1) ドライブイン事業

地元特産物や土産物の販売およびレストランの経営

(2) 旅行商品販売事業

熊野古道ガイドおよび古道歩き体験ツアーの運営

[ツアー概要]

駐車場にマイカーを駐車後、お客さまは熊野古道歩き受付にてお申し込み。

受付後、ガイドマップをお渡しし、スタッフがコース別に説明します。

専用車にて古道歩き始発点までお送りします。

お客さまは各自古道歩きをお楽しみいただき、施設までお戻りいただきます。

5. オープン予定日：平成 2 2 年春頃

6. 運営管理：南海商事株式会社 (施設全般の運営管理)

熊野交通株式会社 (古道歩きツアーの運営、販売)

< 参考 >

1. 熊野古道について

熊野古道は、熊野信仰の人々が歩いた道で、「熊野街道」とも呼ばれています。京都より紀伊半島の西側から入る「紀伊路」と東側から入る「伊勢路」など、いくつかのルートがあります。紀伊路では田辺から中辺路を通るルート(中辺路)と田辺から海沿いを通るルート(大辺路)があります

平成 1 6 年 7 月に熊野古道を含む「紀伊山地の霊場と参詣道」が日本で 1 2 番目の世界遺産として登録されました。

2. 近露について

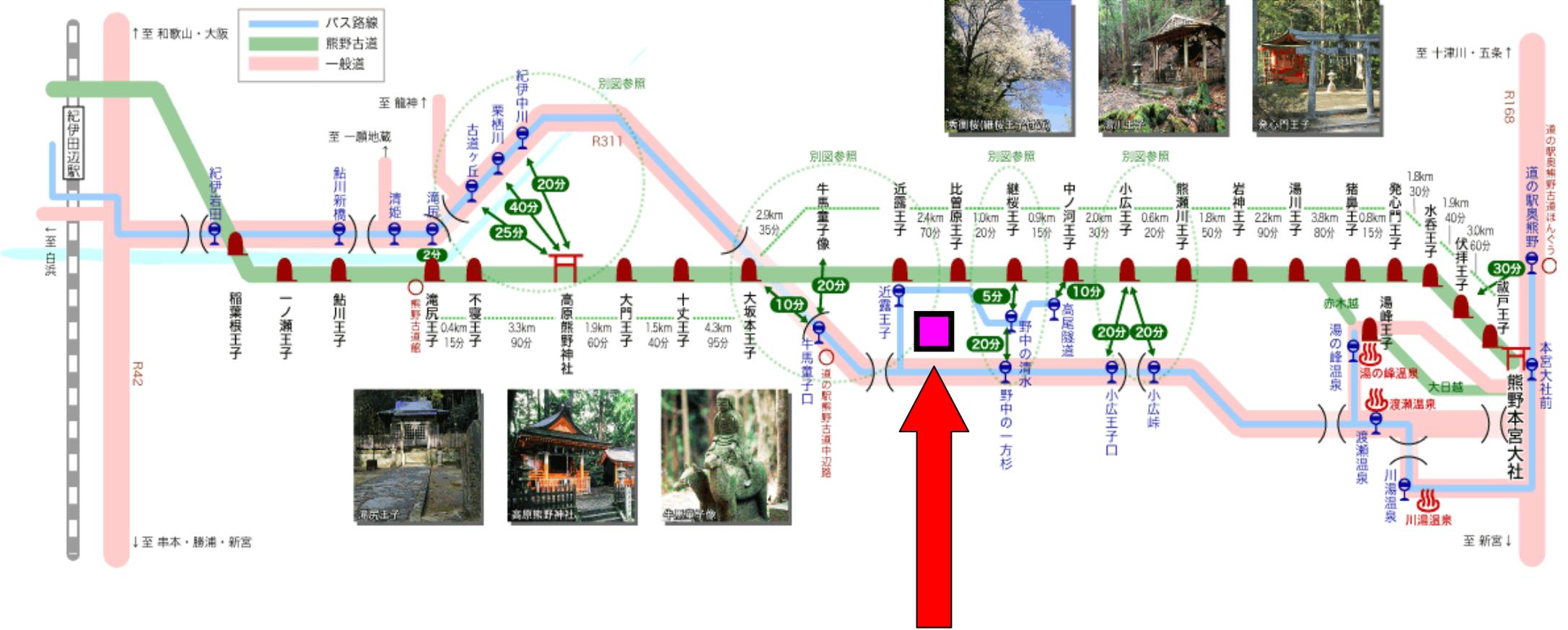
中辺路(滝尻王子から熊野本宮大社まで)のほぼ中間部に位置し、古くから中辺路の要所、宿場として栄えました。徒歩 1 時間から 2 時間の範囲内には、中辺路のシンボルともなっている「牛馬童子像」や日本名水百選に選ばれた「野中の清水」、「継桜王子」、「野中の一方杉」、「とがのき茶屋」、「秀衡桜」(ひでひらざくら)などの熊野古道にまつわる観光名所が点在しています。

以上

位置図



<熊野古道>



「古道歩きの里ちかつゆ」